

2014年度 法科大学院

既修者特別入学試験 第2回目問題

2時限

民事訴訟法・刑事訴訟法・商法

(論文式)

試験時間 60分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[民事訴訟法]

設 問

裁判上の自白の効果について説明しなさい。

(解答は全て解答用紙に記入すること)

[刑事訴訟法]

設 問

詐欺の容疑で通常逮捕した被疑者が、覚せい剤取締法違反の前科のある不良仲間と交際していたことがあると知った捜査官は、同被疑者も覚せい剤を使用している可能性があるとの疑いを抱き、同被疑者に尿の任意提出を求めたが、同被疑者はこれに応じない。この場合、同捜査官は、裁判所の令状を得て、器具を用いて同被疑者の膀胱（ぼうこう）から強制的に尿を採取し鑑定にかけることができるか。できるとした場合、その令状は、どのような条文上の根拠と条件をもったものであるべきか答えなさい。

（解答は全て解答用紙に記入すること）

[商法]

設 問

株主総会における株主提案権、および、株主総会における取締役の説明義務について説明しなさい。

(解答は全て解答用紙に記入すること)